

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2003年1月14日設定）
運用方針	主としてA格相当以上の格付けを有する米国の国債、政府保証債および政府機関債に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。 運用にあたりましては、FTSE米国債インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、ポートフォリオの加重平均デュレーションを2年以上8年以内とした運用を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ USボンド ファンド（毎月分配型）

愛称：夢満債（米ドルコース）

第198期（決算日：2019年8月9日）
 第199期（決算日：2019年9月9日）
 第200期（決算日：2019年10月9日）
 第201期（決算日：2019年11月11日）
 第202期（決算日：2019年12月9日）
 第203期（決算日：2020年1月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ USボンドファンド（毎月分配型）」は、去る1月9日に第203期の決算を行いましたので、法令に基づいて第198期～第203期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			FTSE米国債インデックス (円換算ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税金配	み期騰落	率	期騰落	率			
	円	円	%		円	%	%	%	百万円
174期(2017年8月9日)	9,433	10	△2.9	90,025.93	△2.9	96.8	—	339	
175期(2017年9月11日)	9,407	10	△0.2	89,902.72	△0.1	97.2	—	330	
176期(2017年10月10日)	9,623	10	2.4	92,157.45	2.5	97.1	—	330	
177期(2017年11月9日)	9,763	10	1.6	93,616.64	1.6	97.5	—	321	
178期(2017年12月11日)	9,694	10	△0.6	93,065.02	△0.6	97.8	—	289	
179期(2018年1月9日)	9,606	10	△0.8	92,371.52	△0.7	98.1	—	285	
180期(2018年2月9日)	9,064	10	△5.5	87,413.99	△5.4	97.7	—	267	
181期(2018年3月9日)	8,876	10	△2.0	85,709.26	△2.0	96.5	—	260	
182期(2018年4月9日)	8,941	10	0.8	86,429.26	0.8	96.5	—	261	
183期(2018年5月9日)	9,071	10	1.6	87,744.09	1.5	96.9	—	264	
184期(2018年6月11日)	9,089	10	0.3	88,198.60	0.5	96.8	—	253	
185期(2018年7月9日)	9,230	10	1.7	89,747.86	1.8	95.9	—	257	
186期(2018年8月9日)	9,184	10	△0.4	89,527.41	△0.2	96.5	—	254	
187期(2018年9月10日)	9,195	10	0.2	89,812.85	0.3	97.7	—	247	
188期(2018年10月9日)	9,216	10	0.3	90,260.91	0.5	96.5	—	245	
189期(2018年11月9日)	9,290	10	0.9	91,200.73	1.0	97.3	—	245	
190期(2018年12月10日)	9,343	10	0.7	91,933.31	0.8	98.6	—	244	
191期(2019年1月9日)	9,106	10	△2.4	89,805.07	△2.3	95.7	—	234	
192期(2019年2月12日)	9,288	10	2.1	91,778.94	2.2	97.3	—	235	
193期(2019年3月11日)	9,329	10	0.5	92,373.05	0.6	98.3	—	232	
194期(2019年4月9日)	9,427	10	1.2	93,523.66	1.2	97.3	—	235	
195期(2019年5月9日)	9,330	10	△0.9	92,757.05	△0.8	97.9	—	231	
196期(2019年6月10日)	9,417	10	1.0	93,773.42	1.1	97.7	—	229	
197期(2019年7月9日)	9,466	10	0.6	94,442.12	0.7	97.8	—	230	
198期(2019年8月9日)	9,395	10	△0.6	93,861.90	△0.6	98.0	—	228	
199期(2019年9月9日)	9,573	10	2.0	95,777.09	2.0	97.8	—	231	
200期(2019年10月9日)	9,592	10	0.3	96,164.04	0.4	97.7	—	233	
201期(2019年11月11日)	9,531	10	△0.5	95,841.20	△0.3	97.9	—	232	
202期(2019年12月9日)	9,540	10	0.2	96,062.05	0.2	97.3	—	229	
203期(2020年1月9日)	9,571	10	0.4	96,595.21	0.6	97.0	—	230	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) FTSE米国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、米国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。FTSE米国債インデックス（円換算ベース）とは、FTSE米国債インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		FTSE米国債インデックス		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		円	騰 落 率	(円換算ベース)	騰 落 率		
第198期	(期 首) 2019年7月9日	9,466	—	94,442.12	—	97.8	—
	7月末	9,432	△0.4	94,168.19	△0.3	98.0	—
	(期 末) 2019年8月9日	9,405	△0.6	93,861.90	△0.6	98.0	—
第199期	(期 首) 2019年8月9日	9,395	—	93,861.90	—	98.0	—
	8月末	9,557	1.7	95,475.24	1.7	97.8	—
	(期 末) 2019年9月9日	9,583	2.0	95,777.09	2.0	97.8	—
第200期	(期 首) 2019年9月9日	9,573	—	95,777.09	—	97.8	—
	9月末	9,584	0.1	96,014.32	0.2	97.9	—
	(期 末) 2019年10月9日	9,602	0.3	96,164.04	0.4	97.7	—
第201期	(期 首) 2019年10月9日	9,592	—	96,164.04	—	97.7	—
	10月末	9,594	0.0	96,309.51	0.2	97.5	—
	(期 末) 2019年11月11日	9,541	△0.5	95,841.20	△0.3	97.9	—
第202期	(期 首) 2019年11月11日	9,531	—	95,841.20	—	97.9	—
	11月末	9,675	1.5	97,291.31	1.5	98.2	—
	(期 末) 2019年12月9日	9,550	0.2	96,062.05	0.2	97.3	—
第203期	(期 首) 2019年12月9日	9,540	—	96,062.05	—	97.3	—
	12月末	9,619	0.8	96,925.51	0.9	96.9	—
	(期 末) 2020年1月9日	9,581	0.4	96,595.21	0.6	97.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

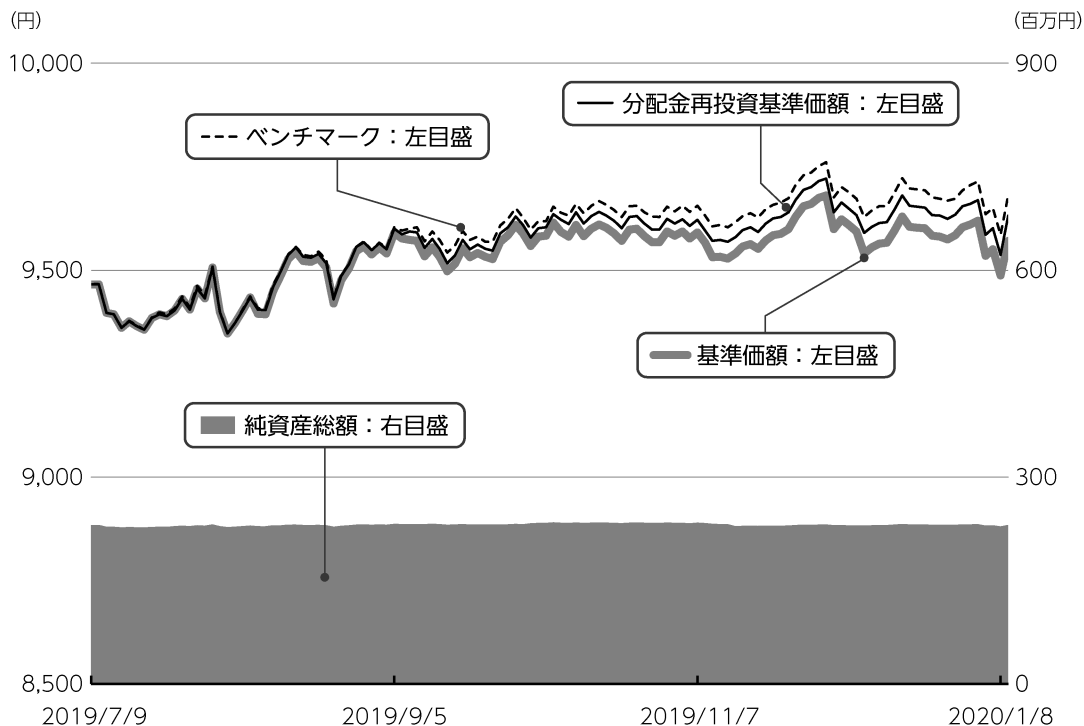
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第198期～第203期：2019年7月10日～2020年1月9日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第198期首	9,466円
第203期末	9,571円
既払分配金	60円
騰落率	1.7%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（2.3%）を0.6%下回りました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収益を享受したこと、米国金利が低下したことに加え、米ドルが対円で小幅上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

第198期～第203期：2019年7月10日～2020年1月9日

投資環境について

▶ 債券市況

米国長期金利は低下しました。

米国長期金利は、米中通商協議を巡る不透明感などを背景に、世界経済の減速懸念が高まったことなどから、当作成期首から2019年8月末にかけて低下基調で推移しました。その後、米国長期金利は、米中通商協議の進展期待が高まったことや、英国のEUからの合意なき離脱に対する懸念が後退したことなどを背景に、当作成期末にかけて上昇したものの、作成期を通じて見ると、低下しました。

▶ 為替市況

米ドルは対円で小幅上昇しました。

米中通商協議を巡る不透明感などを背景に、2019年8月末にかけて米ドルは対円で下落基調で推移しました。その後、米中通商協議の進展期待が高まったことや、英国のEUからの合意なき離脱に対する懸念が後退したことなどを背景に、リスクセンチメントが改善したことなどから、米ドルは対円で上昇しました。結果、当作成期を通じてみると、米ドルは対円で小幅上昇して終わりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

組入比率

当作成期を通じて、債券現物の高位組み入れを維持しました。

デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

米中通商協議や米国の金融政策の織り込みなどを注視しつつ、当作成期を通じてデュレー

ションをベンチマーク比中立から長めの範囲でコントロールしました。

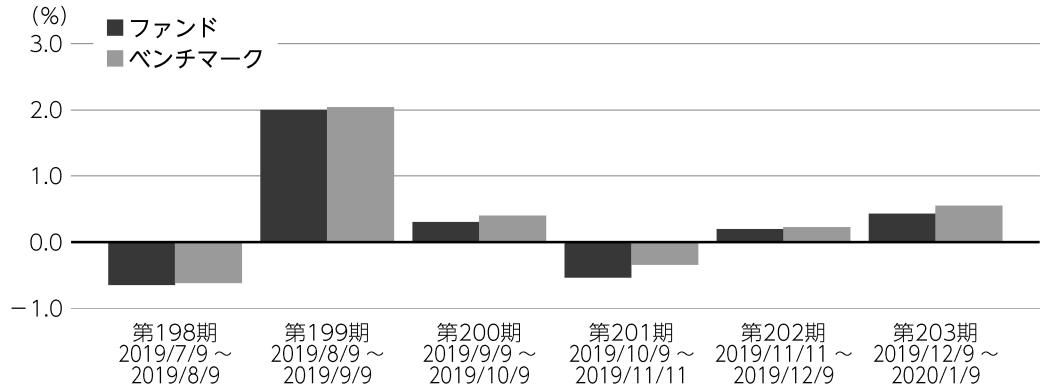
債券種別

当作成期を通じて、米国国債のみの組み入れとしました。

第198期～第203期：2019/7/10～2020/1/9

当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当作成期の基準価額騰落率は、分配金再投資ベースで1.7%の上昇となり、ベンチマークであるF T S E 米国債インデックス（円換算ベース）の2.3%の上昇を0.6%下回りました。

マイナス要因

米国長期金利が上昇した9月に、デュレーションがベンチマーク比長めになっていたことに加え、信託報酬等のコストがマイナス要因となりました。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第198期 2019年7月10日～ 2019年8月9日	第199期 2019年8月10日～ 2019年9月9日	第200期 2019年9月10日～ 2019年10月9日	第201期 2019年10月10日～ 2019年11月11日	第202期 2019年11月12日～ 2019年12月9日	第203期 2019年12月10日～ 2020年1月9日
当期分配金 （対基準価額比率）	10 (0.106%)	10 (0.104%)	10 (0.104%)	10 (0.105%)	10 (0.105%)	10 (0.104%)
当期の収益	9	10	10	9	10	10
当期の収益以外	0	－	－	0	－	－
翌期繰越分配対象額	2,401	2,410	2,414	2,414	2,416	2,421

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

組入比率

安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。

どを注視しつつ、環境変化に柔軟に対処しながら機動的にコントロールする方針です。

デュレーション

デュレーションは、米国の今後の金融政策な

種別構成

国債に対するスプレッド（利回り格差）動向などを注視し、対応する方針です。

2019年7月10日～2020年1月9日

1万口当たりの費用明細

項目	第198期～第203期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	55	0.576	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.219)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(31)	(0.329)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.028	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.021)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.005)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	58	0.604	

作成期中の平均基準価額は、9,537円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

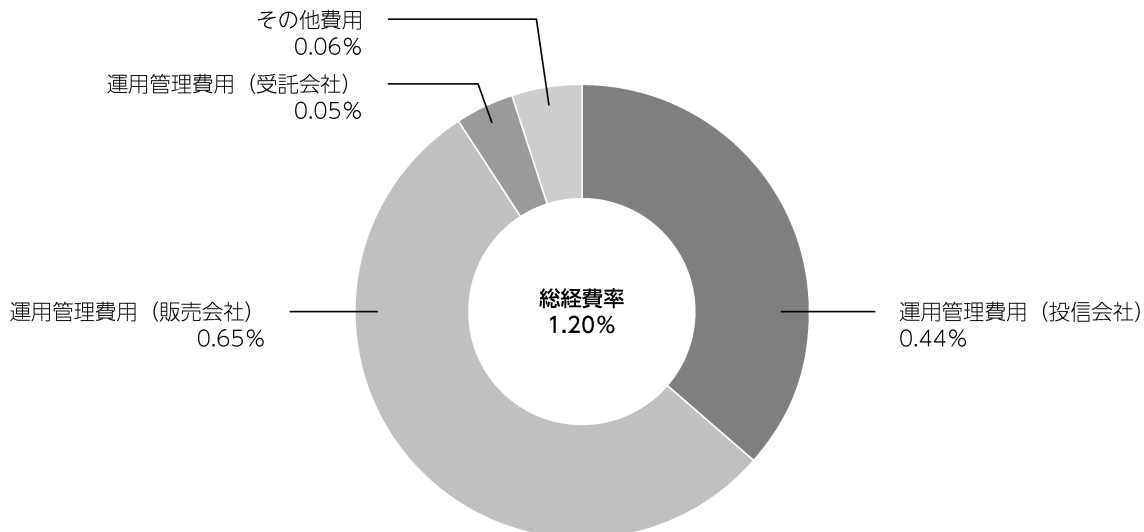
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.20%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年7月10日～2020年1月9日)

公社債

			第198期～第203期	
			買付額	売付額
外国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 906	千アメリカドル 948

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2019年7月10日～2020年1月9日)

利害関係人との取引状況

区分	第198期～第203期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	1	—	—	7	2	28.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年1月9日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	額面金額	第203期末					残存期間別組入比率		
		評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満	
		外貨建金額	邦貨換算金額						
アメリカ	千アメリカドル 1,980	千アメリカドル 2,046	千円 223,512	% 97.0	% —	% 40.1	% 37.7	% 19.1	
合計	1,980	2,046	223,512	97.0	—	40.1	37.7	19.1	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	第203期末					
	利率	額面金額	評価額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
国債証券	1.75 T-NOTE 291115	200	197	21,607	2029/11/15	
	2 T-NOTE 220215	420	423	46,266	2022/2/15	
	2.25 T-NOTE 210430	400	403	44,049	2021/4/30	
	2.25 T-NOTE 251115	220	226	24,735	2025/11/15	
	2.5 T-NOTE 240515	160	165	18,095	2024/5/15	
	2.75 T-BOND 421115	220	236	25,794	2042/11/15	
	2.75 T-NOTE 230430	200	207	22,641	2023/4/30	
	3 T-BOND 490215	140	159	17,376	2049/2/15	
	5.375 T-BOND 310215	20	26	2,946	2031/2/15	
合 計				223,512		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年1月9日現在)

項目	第203期末	
	評価額	比率
公社債	千円 223,512	% 96.8
コール・ローン等、その他	7,474	3.2
投資信託財産総額	230,986	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産（228,701千円）の投資信託財産総額（230,986千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.24円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第198期末	第199期末	第200期末	第201期末	第202期末	第203期末
	2019年8月9日現在	2019年9月9日現在	2019年10月9日現在	2019年11月11日現在	2019年12月9日現在	2020年1月9日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	229,183,334	237,800,343	245,575,075	234,024,381	230,221,597	230,986,784
コール・ローン等	3,338,903	3,938,557	5,299,650	3,741,729	5,862,938	6,114,019
公社債(評価額)	224,226,745	226,546,246	228,440,216	227,296,227	223,473,681	223,512,967
未収入金	—	5,812,773	9,911,128	1,093,050	—	—
未収利息	1,350,119	1,294,576	1,689,568	1,529,594	662,777	1,087,022
前払費用	205,112	129,801	140,101	252,597	89,366	121,962
その他未収収益	62,455	78,390	94,412	111,184	132,835	150,814
(B) 負債	463,807	6,081,545	11,810,361	1,779,059	445,042	467,692
未払金	—	5,617,297	11,349,041	1,091,500	—	—
未払収益分配金	243,454	242,066	243,720	243,681	240,848	240,850
未払解約金	—	—	—	199,506	—	—
未払信託報酬	219,479	221,306	216,744	243,407	203,389	225,941
未払利息	1	1	1	2	—	3
その他未払費用	873	875	855	963	805	898
(C) 純資産総額(A-B)	228,719,527	231,718,798	233,764,714	232,245,322	229,776,555	230,519,092
元本	243,454,677	242,066,147	243,720,677	243,681,582	240,848,921	240,850,360
次期繰越損益金	△ 14,735,150	△ 10,347,349	△ 9,955,963	△ 11,436,260	△ 11,072,366	△ 10,331,268
(D) 受益権総口数	243,454,677口	242,066,147口	243,720,677口	243,681,582口	240,848,921口	240,850,360口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,395円	9,573円	9,592円	9,531円	9,540円	9,571円

○損益の状況

項 目	第198期	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期
	2019年7月10日～ 2019年8月9日	2019年8月10日～ 2019年9月9日	2019年9月10日～ 2019年10月9日	2019年10月10日～ 2019年11月11日	2019年11月12日～ 2019年12月9日	2019年12月10日～ 2020年1月9日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	475,839	469,174	452,518	500,198	411,148	450,417
受取利息	461,080	453,801	437,898	485,161	391,144	432,518
その他収益金	14,809	15,417	14,660	15,052	20,038	17,975
支払利息	△ 50	△ 44	△ 40	△ 15	△ 34	△ 76
(B) 有価証券売買損益	△ 1,713,697	4,297,642	473,938	△ 1,481,499	242,357	758,465
売買益	4,302,127	4,337,442	692,716	4,439,751	1,752,098	1,406,559
売買損	△ 6,015,824	△ 39,800	△ 218,778	△ 5,921,250	△ 1,509,741	△ 648,094
(C) 信託報酬等	△ 251,727	△ 222,181	△ 225,379	△ 256,945	△ 212,133	△ 226,839
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,489,585	4,544,635	701,077	△ 1,238,246	441,372	982,043
(E) 前期繰越損益金	3,587,877	1,845,448	6,109,995	6,535,466	4,945,562	5,145,994
(F) 追加信託差損益金	△16,589,988	△16,495,366	△16,523,315	△16,489,799	△16,218,452	△16,218,455
(配当等相当額)	(20,991,677)	(20,871,949)	(21,513,549)	(21,692,791)	(21,839,881)	(21,840,909)
(売買損益相当額)	(△37,581,665)	(△37,367,315)	(△38,036,864)	(△38,182,590)	(△38,058,333)	(△38,059,364)
(G) 計(D+E+F)	△14,491,696	△10,105,283	△ 9,712,243	△11,192,579	△10,831,518	△10,090,418
(H) 収益分配金	△ 243,454	△ 242,066	△ 243,720	△ 243,681	△ 240,848	△ 240,850
次期繰越損益金(G+H)	△14,735,150	△10,347,349	△ 9,955,963	△11,436,260	△11,072,366	△10,331,268
追加信託差損益金	△16,589,988	△16,495,366	△16,523,315	△16,489,799	△16,218,452	△16,218,455
(配当等相当額)	(20,991,677)	(20,871,949)	(21,513,549)	(21,692,791)	(21,839,881)	(21,840,909)
(売買損益相当額)	(△37,581,665)	(△37,367,315)	(△38,036,864)	(△38,182,590)	(△38,058,333)	(△38,059,364)
分配準備積立金	37,478,703	37,471,374	37,331,635	37,145,255	36,358,324	36,482,699
繰越損益金	△35,623,865	△31,323,357	△30,764,283	△32,091,716	△31,212,238	△30,595,512

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 243,567,456円

 作成期中追加設定元本額 7,849,474円

 作成期中一部解約元本額 10,566,570円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9571円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は10,331,268円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年7月10日～ 2019年8月9日	2019年8月10日～ 2019年9月9日	2019年9月10日～ 2019年10月9日	2019年10月10日～ 2019年11月11日	2019年11月12日～ 2019年12月9日	2019年12月10日～ 2020年1月9日
費用控除後の配当等収益額	224,112円	447,311円	342,443円	243,253円	277,695円	365,897円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	20,991,677円	20,871,949円	21,513,549円	21,692,791円	21,839,881円	21,840,909円
分配準備積立金額	37,498,045円	37,266,129円	37,232,912円	37,145,683円	36,321,477円	36,357,652円
当ファンドの分配対象収益額	58,713,834円	58,585,389円	59,088,904円	59,081,727円	58,439,053円	58,564,458円
1万口当たり収益分配対象額	2,411円	2,420円	2,424円	2,424円	2,426円	2,431円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	243,454円	242,066円	243,720円	243,681円	240,848円	240,850円

○分配金のお知らせ

	第198期	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。